

地 域 再 生 計 画

1. 地域再生計画の名称

洞爺湖三味一体雇用のみちづくり再生計画

2. 地域再生計画の作成主体の名称

北海道虻田郡洞爺湖町

3. 地域再生計画の区域

北海道虻田郡洞爺湖町の全域

4. 地域再生計画の目標

洞爺湖町は、北海道中央南西部に位置し、海（内浦湾）山（有珠山）湖（洞爺湖）の豊かな自然に囲まれたマチで、平成18年3月に旧虻田町と旧洞爺村の合併により誕生した新町である。この地域は、北海道でも温暖な気候と雄大な自然、そして観光景観に恵まれていることから、昭和24年「支笏・洞爺国立公園」として国立公園に指定され、年間318万人もの観光客が訪れている。

この温暖な自然を活かし、特産のセルリーや大葉赤シソ、高級採豆など北海道を代表する野菜の産地としても有名で、また良好な漁場を有していることからホタテを主産物とした水産業も盛んである。さらに2000年（平成12年）に噴火した有珠山では、噴火の爪あとと自然の驚異を間近で体験できる散策路、温泉を気軽に体験できる足湯や手湯、洞爺湖畔には自然体験の拠点となる自然体験ハウスやオートキャンプ場など、地域の特色を生かした観光産業の振興に努めている。

また、農水産物や加工特産品などの消費拡大を図る流通拠点施設「地場産品直売センターあぷた」、洞爺湖周辺の観光・地域情報の集積機能や公共交通の待合機能等を兼ね備えた観光交流拠点施設「洞爺・水の駅」、地場野菜等の販売や農業体験の拠点施設となる「アグリ館とれた」などを整備している。

さらに、地域経済の中心でありながら、有珠山噴火災害後、深刻な経済情勢にある洞爺湖温泉街の賑わいを再生するため、防災施設を活用した散策路や公園、足湯・手湯、街路樹やイルミネーション整備など「魅力ある観光地づくり整備事業」に平成16年度から3カ年の計画で取り組んでおり、雇用の場の確保に努めている。

しかし、これらの取組にもかかわらず、噴火災害による人口の流出、少子高齢化による社会構造の変化、それに伴う地域経済活動の停滞が続き深刻な問題となっている。産業毎にみますと、観光業では旅行形態の変化や有珠山噴火による観光客の落ち込み、農林水産業においては後継者不足や従事者の高齢化、町民の就労先となっている既存事業所の廃止傾向も続いている。こ

れにより町の活力が失われ、若者の人口流出にも歯止めがかからない状況にある。

人口の推移

区分	昭和 45 年	昭和 55 年	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年
人 口	16,187 人	14,401 人	13,113 人	12,805 人	10,622 人
旧 虻田町	13,292 人	11,915 人	10,699 人	10,536 人	8,352 人
旧 洞爺村	2,895 人	2,486 人	2,414 人	2,269 人	2,270 人
増 減 率	—	△11.03%	△ 8.94%	△ 2.35%	△17.05%

洞爺湖温泉観光客入込み数

(単位：人)

区分	平成 9 年	1 2 年	1 3 年	1 4 年	1 5 年	1 6 年
総数	3,942,648	1,268,157	2,768,999	3,261,860	3,364,362	3,183,748
日帰り客	3,094,219	961,078	2,149,126	2,544,069	2,627,806	2,484,700
宿泊人員	848,429	307,079	619,873	717,791	736,556	699,048

このような地域の特性・課題を踏まえ、新町建設計画では、多くの人々が集い交流する魅力ある観光地づくり、観光との連携・融合による農・水産業など産業の活性化を柱とした活力あふれるまちづくりを進めることとし、将来像を「湖海（うみ）と火山と緑の大地が結びあい元気をつくる交流のまち」と定め、豊かな自然と観光資源を有効に活用し地域の特性を生かした観光地づくり、「地産地消」の視点に立った農水産物の直売や観光・体験農業などによる都市との交流の促進さらには他産業との連携・融合による新たなアグリ・ビジネスの形成支援に努めるなど、新町の基幹産業である農業と水産業の振興を図り、多彩で魅力ある観光・交流資源を一本化・融合させた総合的な取り組みを積極的に推進するなど、交流と活力に満ちた元気産業のまちづくりを新しい街づくりの基本目標の1つに掲げた。

本地域再生計画は、年間400万人の観光客をターゲットにした観光・農林水産分野における新たな事業展開を見出すため、豊富な資源を活用した高品質な観光サービスの提供や付加価値をつけた特産品の開発・販売促進、魅力的な観光産業を創出し、これにより本町が目標とする将来像「湖海（うみ）と火山と緑の大地が結びあい元気をつくる交流のまち」の実現を図る。

目標達成の指標

① 雇用の拡大に関する指標

地域提案型雇用創造促進事業について

- ・事業を利用した企業における労働者の雇入数の合計 321人
- ・事業を利用する求職者等の求職件数の合計 407人

② 魅力ある観光地づくりの実現に関する指標

- ・平成20年度の年間観光客数 4,000千人
- … 平成16年度数値比較820千人増(約25.6%増)

5. 目標を達成するために行う事業

5-1 全体の概要

地場産品の高付加価値化・ブランド化など農水産業の振興を図り、また観光資源を有効に活用した滞在型観光を推進し、多彩な体験と観光メニューを企画し選択することができるようにすることで観光と農水産業の相乗的な振興を図る。

また既存の物産販売所と観光関連施設を連携させた観光情報、地場産品の情報発信や販路の拡充を図る。そのために観光案内の講習会・実務研修会やリーダー養成のための販売戦略、経営・労務管理の企画立案などの研修会・検討会を開催する。加えて、創業相談窓口を設置し、創業・起業化の推進と経営の安定を図る。

さらに、新たな観光資源の創出による新商品の開発や観光プログラムの企画立案を行う人材を育成するセミナー、町民及び観光施設従業員を対象とする海外からの観光客を念頭に置いた語学研修、接客サービスの講習会を開催し、人材の育成を図る。また、地場産品を使った創作料理の研究と人材を育成する研修会、新たな加工特産品の開発のための研究会を開催する。

5-2 法第4章の特別の措置を適用して行う事業

該当なし

5-3 その他の事業

5-3-1 地域提案型雇用創造促進事業(パッケージ事業)【C0901】

(1) 実施主体

洞爺湖三味一体雇用のみちづくり協議会

(2) 構成団体

洞爺湖町、虻田町商工会、洞爺村商工会、洞爺湖温泉観光協会、洞爺観光協会、とうや湖農業協同組合、いぶり噴火湾漁業協同組合、洞爺湖温泉旅館組合

(3) 実施を希望する期間

平成18年度～平成20年度

(4) 行おうとする主な事業

1 観光産業就業希望者等育成事業

①おもてなし人材育成

ホテル・旅館・土産品店従事者を対象とし、接客マナー、観光施設情報研修などを行い、観光客が安心とゆとりある観光ができる態勢をつくり、リピーターの増加を図るためにリーダー的人材を育成する。

②通訳育成

有珠山噴火以後、台湾、中国や香港を中心に毎年誘致キャンペーンを行っているが、近年増加傾向にあり、特に台湾、香港や中国からの観光客が大きな伸びを示している。この受け入れ態勢を整え、更なる受入増を図るため、中国人通訳を招き、必要な中国語会話ができる観光産業従事者を育成する。

③有珠山火山ガイド育成

平成12年3月の有珠山噴火により西山火口、金毘羅山火口が誕生した。それを新たな観光資源ととらえて、西山火口は平成14年度、金毘羅山火口については平成17年度に散策路を整備し、ボランティアガイドが観光客を受け入れている。受け入れ態勢を充実するための本格的な火山ガイドを育成する。

④体験型観光充実のための人材育成

自然体験拠点施設「洞爺財田自然体験ハウス」にある洞爺ガイドセンターが窓口となり、カヌーや自然散策等の体験観光を受け入れているが、ガイドも少人数であり、50人程度しか受け入れが出来ないため、修学旅行などの大口団体の受け入れができず、洞爺湖温泉街のホテル・旅館の連携が難しい状況にある。従って、大口団体を受け入れる体制を整えるため、ガイド人材を育成する。また、山登り・川登り、農業、そば打ち、クラフト等の体験観光のメニューを拡充する。

⑤広域周遊案内人育成

雄大な自然をロケーションに洞爺湖畔に58基の彫刻アートを設置した「洞爺湖ぐるっと彫刻公園」は他に類を見ない観光資源であり、観光地洞爺湖の財産である。その素晴らしさや魅力を中心に洞爺湖観光をより楽しんでもらうよう案内人を育成する。

⑥地場産品販売員育成

地場産品の製造、生産工程やこだわりなどの特徴を研修し、購入希望者にその特徴等をきめ細かに説明でき、そして地場産品の販売促進のプロフェッショナル的人材を育成する。

⑦加工技術人材育成

豊富な農水産物の付加価値を高める加工技術者を育成する。

2 観光産業を支える中核人材確保・育成事業

①中核的調理師育成

安全・安心で豊富な地場産品を使った料理創作のための調理技術研修を行い中核的調理師を育成するとともに、地域農水産業と連携した当地域でしか味わえないご当地の味を創出する。

②菓子職人中核的人材育成

東南アジアからの観光客受け入れ態勢充実のため、新たな菓子創作のための菓子職人を育成するとともに、洞爺湖の新銘菓を創出する。

③起業セミナー

町内で活動している各種団体などへ、経営・人事労務管理等のアドバイスを通じ、起業による雇用の確保等を行う。

5-3-2 独自の取り組み

①JR 洞爺駅観光案内施設整備事業

洞爺湖観光の表玄関である JR 洞爺駅に観光案内看板、洞爺観光 PR ビデオ放映等を行うための施設を整備する。

②地場産品販売促進対策事業

町内の地場産品施設の連携を図り、施設及び地場産品の PR 事業、各施設におけるイベントの開催などを行う。

③ビジターセンター及び火山科学館建設整備事業

洞爺湖エコミュージアム構想に則った、洞爺湖周辺の自然と有珠山噴火の資料や映像体験などを備えた学習施設を平成18年度に建設整備する。

④芸術文化交流センター建設事業

洞爺湖町には、国際彫刻ビエンナーレ展の開催による彫刻作品のほか、彫刻家 並河万里 氏の写真などの数多くの芸術作品を所蔵しており、それらの作品を活用し、新たな交流の場の創出を図るための芸術文化交流センターを平成18年から2ヵ年で建設整備する。

6 計画期間

認定の日から平成21年3月末まで

7 目標達成状況に係る評価に関する事項

地域再生計画の目標については、毎年度実施する観光客入込み調査などの統計指標、利用者へのアンケート結果をもとに、町や商工会・観光協会を初めとした関係団体からなる協議会を設置して、達成状況の評価並びに改善すべき事項の検討などを行うこととする。

8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当なし